

# 令和7年度草刈作業における飛石事故

発生日時	性別	年齢	程度	地区	事故の状況
4月8日 11時40分頃	男	74	保険 適用外	西条	緑地内の草刈作業中誤って石を跳ねて隣接する電話ボックスのガラスに当たりの右側のガラスを破損させた。作業中に防護ネットの設置を怠っていた。
5月17日 14時半頃	男	74	保険 適用外	東予	草刈作業中誤って石を跳ねて駐車場に駐車中の車の右側後部クォーターガラスを破損させた。 事前に連絡し社員全員の車両を移動させていたが反対側の社用車数台は移動させていなかった。防護ネットでの養生を怠っていた。
7月16日 8時半頃	男	74	保険 適用外	小松	草刈作業中誤って石を跳ねて走行中の車両左前ウインカーカバーを破損させた。防護ネットを持ち、車両通過時には笛にて作業会員へ注意喚起しながら作業していたが防護ネットを飛び越し誤って石を飛ばした。刈刃が使用禁止のナイロンコードであった。
10月27日 11時半頃	男	74	119,180 円	小松	駐車場入り口から、約30m離れた傾斜地を、チップソーでネットにて飛散防止対策を施し草刈作業中、誤ってネット上から小石が飛び駐車中の車両のルーフ1箇所を破損させた。所有者は車内にいて「カツン」と言う音がして気が付いた。

## 事故ゼロを目指して！

# 安全ニュース

公益社団法人  
西条市シルバー  
人材センター  
0898-76-3670

2026年  
4月

令和7年度も残念ながら非常に多くの事故が発生しました。その中でも、草刈作業中の飛石事故が多くみられました。

これらの飛石事故の多くは、安全対策を実施していれば防げる事故でした。

草刈り作業における飛散防止対策の一例

- ・ 刈刃はチップソー
- ・ ナイロンコードの使用厳禁
- ・ 車両や人の多い時間帯を避けて作業する
- ・ チェックリストを用いた作業前ミーティングで危険個所を共有・確認
- ・ 防護ネットの使用

飛散防止対策を講じずに作業を行い、事故が発生した場合、**保険適用外**となります。

令和8年度は、「事故ゼロ」を目指して草刈作業の安全対策を徹底し、すべての作業において『**安全対策100%**』の実施を目指して取り組めます。

「知っている・できる・でもやらない…」

わかってやる違反

不作為はなぜ起るのか？

疲労や焦りや怒りが高まることで  
効率に注意が向き、**リスクを過小評価**したり**無視**する

効率が良い・その方が楽・面倒  
ちょっとだけ・みんなやってるし…

繰り返されることで  
習慣化し日常になる

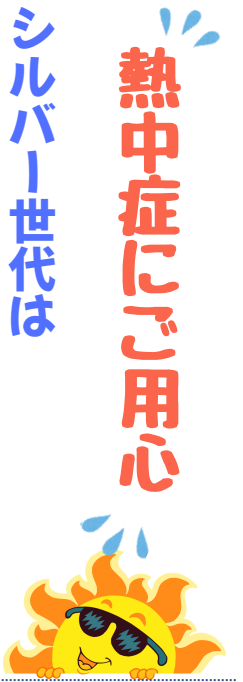
見逃し、黙認をストップする

**重要!**

ルール違反を  
習慣化・日常化させない



# 熱中症にご用心



## シルバー世代は

### 特に注意が必要です

シルバー世代は若年者よりも体内の水分量が少ないうえ、体の老廃物を排出する際たくさん尿を必要とします。また、加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなり、体に熱がたまりやすく、熱いときは若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

## 水分・塩分を補給しましょう

のどがかわいていなくても、こまめに水分をとりましょう。スポーツドリンクなどの塩分や糖分を含む飲料は水分の吸収がスムーズにでき、汗で失われた塩分の補給にもつながります。

ただし、かかりつけ医から水分や塩分の制限をされている場合は、よく相談の上、その指示に従いましょう。

1日当たり  
1.2ℓを  
目安に



コップ約6杯分



## 日頃の健康管理に気を付けよう

十分な睡眠をとりましょう  
寝不足だと温度調整機能が低下  
します



体調は良いですか

持病のある人は「服薬確認」  
熱中症警戒アラートの確認

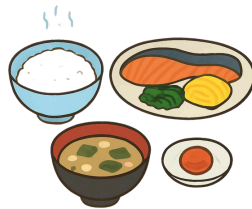


仕事の前日は控えめに  
アルコールの利尿作用で  
脱水症に



朝食はとりましたか

食事で水分・塩分・糖質の摂取



いつもと違うと思ったら・・・  
熱中症かも！

熱中症は死亡災害に至る  
割合が  
他の災害の約5～6倍

ほとんどが  
初期症状の放置  
対応の遅れ

適切な対応や処置で、  
救命できた可能性が高い

## 熱中症対策強化について

判断と対応に迷いが生じないように、対応手順や連絡体制を「熱中症予防対策マニュアル（7ページ）」にて事前にご確認ください。

西条市シルバー人材センター  
熱中症予防対策マニュアル



## 接触事故発生

労働者派遣事業の運転業務中に、駐車場内にて、シルバー会員が運転する送迎車と降車した利用者が接触する事故が発生しました。

運転に携わるすべての会員は、今一度、基本動作の徹底と安全確認の強化をお願いします。

「止まる・見る・確かめる」を確実に実行し、運転者としての自覚と責任をもって行動してください。

わずかな油断や慣れが、重大な事故につながります。

今回の事故を他人事とせず、一つ一つの業務を、安全最優先で行っていただきますようお願いいたします。

また、就業中に事故が発生した場合は速やかにシルバー事務局まで連絡してください。

